

「第4次さいたま市男女共同参画のまちづくりプラン」の評価方法に対するご意見

意見番号	項目	ご意見の概要	対応
1	事業担当課からの所見の提出の省略	<p>①外部評価がPDCAサイクル「C」にあたるものならば、所管課からの評価（Check）に対するActionを示してほしい。</p> <p>②評価のフィードバックと所見提出を活用して意見交換をし、より男女共同参画のまちづくりの視点が庁内に浸透していくよう動いていくことが必要ではないか。</p> <p>③継続して実施すべき</p>	<p>所管課からの所見を提出</p> <p>※資料1-2を参照</p>
2	年度計画の設定	<p>重点目標順になっているが、重要度や目標達成にかかる期間等も鑑み、設定すべき。</p>	<p>目標達成に時間がかかると考えるもの順に割り振る。また、1つの所管が複数の重点目標に位置付けられる事業を実施している場合、各所管が実施している事業を関連付けて評価することができるよう、併せて外部評価を実施する。</p> <p>※資料1-2を参照</p>
3	内部評価様式の変更	<p>①各推進事業における課題を、推進事業名のすぐ右隣りにもってきて、さらに課題の右隣に、「課題を解決するための施策」という項目名で、現行の「事業内容」を並べてもらえると、より良いかと思う。事業内容の方がまず先にあって、それが課題の解決にどう直結するのか、対応関係がはっきりしない場合があるからである。実施される事業が、課題の解決にあまり関係のないものであれば無駄なので、内部評価実施にあたり、各所管課には実施した事業が課題解決にどれだけ寄与したのか、という視点を意識していただきたい。</p> <p>②自己評価の「年度ごとの自己評価」の記述右列「課題と課題解決に向けた今後の取組」を「男女共同参画推進の課題」と「男女共同参画推進の課題の解決に向けた今後の取組」のような2つに分け、記述欄を4つにする。 自己評価の記述の右3つを男女共同参画の視点のまちづくりという観点からの評価に統一することで、男女共同参画のまちづくりとして、「配慮」→「課題」→「課題解決に向けた取組」を評価者がどのように捉えているかを知ることができ、この流れと、左側の事業実施や目標値達成と合わせて外部評価がしやすくなると思う。</p>	<p>・事業実施にあたり、男女共同参画に配慮した点がわかりやすく、実施状況と並べて表記する。</p> <p>・内部評価表と外部評価表とを対比させるため、男女共同参画の課題について、自己評価の中に位置づける。</p> <p>※資料1-3を参照</p>
4	外部評価様式の変更	<p>①記述式になっているが、以前のように数値による評価も併用すべき。</p> <p>②総合的な評価を点数で評価（1事業につき3つではなく1つ）。その上で記述（記述は必須ではない）。</p>	<p>自己評価に対する認識についての数値による評価を追加 記述の部分は自由記入とする</p> <p>※資料1-4を参照</p>